

地域・在宅看護学特論

単位数：2単位

○小笹美子：地域・老年看護学講座 教授

岡本玲子：大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授

神田秀幸：島根大学医学科環境保健医学講座 教授

1. 科目の教育方針

地域で暮らす人々の生活を支えるために地域看護の歴史的変遷や地域看護の理論を学び、地域で生活する個人、家族、集団、組織の健康課題を理解する。特に、生活弱者、健康弱者の健康課題とその支援方法について事例を通して学ぶ。これらを踏まえ、地域看護の実践に必要な基礎的知識、研究方法について学ぶ。

2. 教育目標

- 1) 地域看護に関する基本的概念や理論について理解する。
- 2) 地域看護が展開されるさまざまな場における地域保健活動も視野において、地域で生活する人々の健康づくりと保健行動を支援するための知識・技術を習得する。
- 3) 個人家族、集団、組織の健康レベル向上の課題を理解し、効果的な看護支援方法を学ぶ。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【進め方】

講義、学生によるプレゼンテーションと討議を中心に授業を進める。
受け身ではなく積極的に学ぶこと。

【評価】

授業への出席、レポート、討議への参加から総合的に評価を行う。

4. 使用テキスト、参考文献等

- ・松村真司、臨床家のための臨床研究デザイン塾テキスト③ 概念モデルをつくる、特定非営利活動法人健康医療評価研究機構

5. 教育内容

回	月 日	内 容	講師
1	4月9日	社会的健康課題と地域看護学 (1) 公衆衛生	小笹
2	4月16日	社会的健康課題と地域看護学 (2) 個人・家族集、集団	小笹
3	4月23日	社会的健康課題と地域看護学 (3) 生活を支援	小笹
4	5月7日	地域看護の支援に用いる概念モデル (1) プライマリ・ヘルス・ケア	小笹
5	5月14日	地域看護の支援に用いる概念モデル (2) ヘルスプロモーション	小笹
6	5月21日	地域看護の支援に用いる概念モデル (3) 疫学	神田
7	5月28日	地域保健政策	小笹
8	6月4日	地域の活動事例 (1)	小笹
9	6月11日	地域の活動事例 (2)	小笹
10	6月18日	地域の活動事例 (3)	小笹
11	6月25日	地域の活動事例 (4)	小笹
12	7月2日	地域の活動事例 (5)	小笹
13	7月9日	地域の健康課題と看護活動	小笹
14・15	調整中	地域看護活動と研究	岡本

都合により日程を変更することがある。